

令和4年度第2回宮城県地域医療構想会議（大崎・栗原区域）会議概要

令和5年3月23日  
宮城県保健福祉部医療政策課

【議事（1）】について

No.	委員（敬称略）	所属	意見・質問の別	意見・質問の内容	回答
2	鈴木 啓之	加美郡医師会 会長	意見	今回の永仁会病院のベッド80床が、5年以上半分が空床であることを知った。計画では、より今後の医療状況の変化に対応した改変をされるようで、地域としても積極的のその方向で推し進めていただきたい。	課題解決につなげられるよう取組を進めてまいります。
11	並木 健二	大崎市病院事業 管理者	質問	地域医療構想上の機能別必要病床数や実情を考慮すると病床削減は妥当だと思うが、今後病床機能の転換は考えているか。	<p>（永仁会病院の回答） 病床機能は急性期を維持する意向にあり、現時点では病床機能の転換は考えていません。</p> <p>（宮城県の回答） 県では、回復期への機能転換を行う場合には、必要な施設や設備の整備などに対する財政的な支援を行っています。このような支援を活用するなど、各医療機関の意向を踏まえて、今後も地域医療構想の推進に向けて取り組んでまいります。</p>